

Title	前論文186及ビ203ヘノ注意
Author(s)	南雲, 道夫
Citation	全国紙上数学談話会. 59 p.1-p.1
Issue Date	1935-09-27
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74129
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

207. 前論文186及び203への注意

南 雲 道 夫 (阪大)

甚だ些細な事ナガラ前=出シタコト=ツイテツマラナイ
注意ヲ附ケ足サレテ載キマス。

53号・186 “凸凹ナ床=机ヲ据エル問題”=於テハ
机ノ足先ガ一点カラ成ルモノト考ヘマシタ。實際ハソナ机
ハアリマセン。机ノ足先ガ太サヲ看スルトキガ問題デス。然
シ此ノ場合ノ解答ハ私ニハ出来マセンガ、足先ガ丁度球面ノ
時=ハ（ソノ半径ハ四ツトモ等シイ）同様ナ結果ヲ得マス。
証明ハ足先ノ四点ノ代リ=球ノ中心ヲ考ヘレバ、ソックリソ
ノマニ成立シマス（足ト床トノ切点デハウマク行キマセン）。

58号・203 “連続ナ環=於ケル群 $G_s \cdot G_t = G_{s+t}$
=ツイテ”=於テ *Ring* \mathcal{R} が単位1ヲ含マヌトキ=ハ之
ヲ付ケ加ヘルコトが出来ルコトヲ示シ、 $G(t)$ ノ代リ=之ヲ
 $t=0$ ノ時単位=ナル様ナ $H(t)$ ガオキカヘマシタ。

然シ $G(0)=A$ トスル時、 $A^2=A$ ナルコトカラ、
 A \mathcal{R} $A = \mathcal{R}_A$ ハ \mathcal{R} ノ部分環トナリ、 A ハ \mathcal{R}_A =於ケル単位
トナリマス。又 $G(t) \in \mathcal{R}_A$ ナルコトが容易=解リマスカラ、
スベテ \mathcal{R}_A 内デ考ヘレバ $G(t)$ ヲソノマニデ之ヲ変形スル必
要ハアリマセン。

昭和十年度1月—6月分ノ會費金貳円未
納ノ方が大分アリマス。

一度決算ヲシタイト思ヒマスカラ至急御納
メ願ヒマス。

尚途中入會ノ方ハ何レ近日中ニ會費請求
致シマス。